

愛知県流域下水道事業経営戦略 2021年度の取組実績

1 数値目標※1

項目		2014年度 (基準年)	中期目標	2021年度 までの実績	進捗状況等
快適な水環境を創造する	下水道処理人口普及率(名古屋市含む)	75.6%	約85% (2025年度)	80.6%	2025年度までの目標85%に対し、5.0%進捗した(概ね計画どおり進捗)
	高度処理人口普及率(名古屋市含む)	40.7%	約55% (2025年度)	47.9%	2025年度までの目標55%に対し、7.2%進捗した(概ね計画どおり進捗)
安心・安全なまちづくりを支える	流域下水道の耐震化処理場・ポンプ場	216施設	269施設 (2023年度)	245施設	2023年度までの目標53施設に対し、29施設整備した(目標に対する進捗率54.7%)
	流域下水道の耐震化管きよ	332km	332.9km (2023年度)	332.9km	2023年度までの目標0.9kmに対し、全て完了した(目標達成)

※1 数値目標は、『あいち下水道ビジョン2025』に示したもののうち、流域下水道に関連するもののみ記載。

2 経営指標

項目		2021年度実績	2020年度実績	2020年度 類似団体平均※2
経営の健全性	経常収支比率【単年度損益】	100.97%	100.25%	101.63%
	流動比率【キャッシュフロー】	101.36%	99.32%	101.14%
経営の効率性	汚水処理原価【費用の効率性】	44.66円/m ³	43.21円/m ³	50.67円/m ³
	施設利用率【施設の効率性】	77.41%	77.20%	68.20%
	水洗化率【施設の効率性】	87.19%	86.92%	94.01%
老朽化の状況	有形固定資産減価償却率【施設全体の減価償却の状況】	11.19%	7.72%	31.96%

※2 類似団体平均は、全国の流域下水道事業を実施している自治体のうち、供用後30年経過している自治体の平均。

3 投資・財政計画との比較

収益的収支(税抜) (単位:千円)

区分		2021年度			
年度		計画値(A)	実績値(B)	(B)-(A)	(B)/(A)
収入	営業収益	12,591,374	12,883,116	291,742	102.3%
	営業外収益	16,669,074	16,900,047	230,973	101.4%
	収入計	29,260,448	29,783,163	522,715	101.8%
支出	営業費用	27,584,011	27,281,743	△ 302,268	98.9%
	営業外費用	1,806,468	2,215,596	409,128	122.6%
	支出計	29,390,479	29,497,339	106,860	100.4%
当年度純利益(又は純損失)		△ 130,031	285,824	415,855	△ 219.8%

資本的収支(税込) (単位:千円)

区分		2021年度			
年度		計画値(A)	実績値(B)	(B)-(A)	(B)/(A)
収入	企業債	5,887,000	5,044,000	△ 843,000	85.7%
	他会計出資金	1,800,333	1,596,900	△ 203,433	88.7%
	国庫補助金	8,095,883	6,072,473	△ 2,023,410	75.0%
	建設負担金等	2,185,049	2,021,358	△ 163,691	92.5%
収入計		17,968,265	14,734,731	△ 3,233,534	82.0%
支出	建設改良費等	14,069,821	10,226,062	△ 3,843,759	72.7%
	企業債償還金等	8,156,428	8,152,169	△ 4,259	99.9%
	支出計	22,226,249	18,378,231	△ 3,848,018	82.7%
損益勘定留保資金等充当額		4,257,984	3,643,500	△ 614,484	85.6%

4 2021年度の主な取組

○汚水処理施設整備(管きよの整備)

- ・日光川下流流域下水道 8号幹線 L= 698m (2022年度完了予定)
- ・新川西部流域下水道 春日幹線 L= 590m (完了)、L= 505m (2022年度完了予定)
- ・新川西部流域下水道 稲沢幹線 L= 727m (完了)

○汚水処理施設整備(水処理施設の増設、高度処理施設の整備)

- ・矢作川浄化センター Q=20,000m³/日 (2023年度完了予定)
- ・境川浄化センター Q=17,400m³/日 (2024年度完了予定)
- ・五条川右岸浄化センター Q= 7,950m³/日 (完了)
- ・新川東部浄化センター Q= 5,140m³/日 (2022年度完了予定)

○地震対策(処理場の耐震化、非常用自家発電設備の整備)

- [処理場の耐震化] 矢作川浄化センター、豊川浄化センター、五条川左岸浄化センター
- [自家発電設備の整備] 境川浄化センター(完了)、矢作川浄化センター(2022年度完了予定)
- 日光川下流流域下水道 弥富ポンプ場(2022年度完了予定)

○老朽化対策(処理場)

- ・矢作川浄化センター、境川浄化センター、衣浦西部浄化センター、衣浦東部浄化センター、豊川浄化センター、五条川左岸浄化センター、日光川上流浄化センター、五条川右岸浄化センター、新川東部浄化センター

○広域化・共同化(共同汚泥処理施設の整備)

- ・衣浦西部浄化センター(完了)

○下水汚泥のエネルギー利用

- ・矢作川浄化センター(バイオガス燃料利用) ・豊川浄化センター(バイオガス発電)
- ・衣浦東部浄化センター(炭化燃料製造)

○施設・土地の有効活用

- ・衣浦西部浄化センター、豊川浄化センター、日光川下流浄化センター(太陽光発電・土地貸付)